

インターチェンジ

長岡北スマートICからたった1分 新たな産業団地を整備

詳しくは
4ページへ

圃産業立地課 ☎39・2298

ニーズが高い“高速IC直結”で
長岡の経済を活性化、定住人口を増やします！

至新潟

長岡北
スマートIC

長岡北スマート
流通産業団地

至蔵王橋

北陸自動車道

至東京、北陸

総面積 **36ha**
(悠久山野球場)
約18個分

長岡鉄工団地

次代へつなぐ「米百俵の精神」

長岡開府から400年の今年、次の100年に向けたまちづくり、人づくりの「新しい米百俵」事業を展開してきました。

ゆかりの出来事などを紹介する連載も今回が最終回です。

ROOTS
400 越後長岡
長岡開府
400年
平成30年
最終回

圃政策企画課
開府400年記念
事業推進室
☎39・2395

明治3（1870）年、北越戊辰戦争に敗れ困窮する長岡に、支藩の三根山藩（現在の新潟市西蒲区峰岡）から送られてきた米百俵。長岡藩の大参事・小林虎三郎はこの米を藩士らに分配せず、国漢学校設立資金の一部に充てた。

このエピソードは、文豪

・山本有三の戯曲「米百俵」によって広く知られるようになり、「国が興るのも、滅びるのも、まちが栄えるのも、衰えるのも、ことごとく人にある。食えないからこそ学校を建て、人物を養成するのだ」という虎三郎の思想は、多くの人に感動を与えました。



▶明治12（1879）年の「懐旧雑誌」に掲載された国漢学校（図左下）。現在、跡地には石碑があります（大手通り・NaDeC BASE前）

長岡が誇るこの「米百俵の精神」を次世代へ伝えようと、「阪之上小学校の英語劇」や「米百俵まつり」、長岡市米百俵財団の活動などが行われています。

開府400年を迎えた長岡市。100年先を見据えた人づくりと未来への投資を行う「新しい米百俵」を進めていきます。

■発行：長岡市（平成30年12月1日発行）
〒940-8501新潟県長岡市大手通1-4-10 ☎0258・35・1122(代)
※市政だよりは市役所総合ガイド、西・東サービスセンター、各支所で発行日から閲覧できます
※元号の表記は、新元号の公表までは「平成」とします

編集：広報課 ☎0258・39・2202/FAX0258・39・2272

■人口と世帯（11月1日現在） ※（ ）内は前月比
人口/271,308人(-136) 世帯数/107,429世帯(+55)
男/132,562人(-71) 女/138,746人(-65)

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp>

VEGETABLE OIL INK 植物油インキを使用しています